



本校の教育目標

自ら学び 思いやりの心をもつ たくましい児童の育成

かしこい子
【わかる楽しさを味わう】

思いやりのある子
【いっしょにつくる楽しさを味わう】

たくましい子
【できる楽しさを味わう】

【めざす学校像】

- ・「学校の元気」がみえる学校
- ・心の居場所がある温かみのある学校
- ・家庭や地域に愛される学校
- ・安全で安心して生活できる学校

【組織目標】

自分で決め実行できる学校づくり

笠間小の学校生活をみんな（児童と教職員）でつくるキーワード
「あはつ・あとしまつ・あいがとう」3あッブ
+1（丁寧な言葉遣い）

【めざす教師像】

- ・「教師の元気」がみえる教師
- ・人（児童・保護者・同僚）の心に寄り添える教師
- ・教育のプロとしての矜持がある教師
- ・ライフステージに合わせてスキルアップできる教師

【わかる楽しさを味わわせるために】

◎ICT 機器を活用した授業改善

- ・一人一台端末を使った個別最適な学びと協働的・探究的な学びの実現
- ・デジタル教科書の導入
- ・遠隔教育の実践など

◎発表力を高める工夫

- ・相手（誰に対して）意識をもった発表
- ・相手の目を見て発表

◎主体的・対話的で深い学びの実践

- ・体験活動の重視
- 学び＝知識×気づき×体験

◎地域の教育資源を生かした指導の充実

- ・学校運営協議会を活用し地域の方を活用した授業の実践

◎SDGsの視点に立った特色ある取り組みの実践（防災教育・夏休みの総合的な学習）

【いっしょにつくる楽しさを味わわせるために】

◎感染症対策の中での温かな学級学年経営

- ・教室における感染症対策の徹底
- ・「空間的距離」を保ちながら「心理的距離」を縮める仕掛けや工夫

◎絆づくりと居場所づくり

- ・児童が主役の特別活動（徳徳との関連付け）
- ・児童の手による「3あッブ」の推進

◎心に響く道徳教育の推進

- ・道徳の学びを学校文化に（特活との関連付け）

◎一人一人を大切に指導

- ・一人一人に応じた指導や支援
- ・いじめや虐待等早期発見・早期対応
- 見守り体制の確立

◎学校や地域に誇りや愛着をもつ心の醸成

- ・地域の人・もの・ことの積極的な活用
- ・校内環境づくり

【できる楽しさを味わわせるために】

◎自分のことは自分でできる児童の育成

- ・学年の発達段階に応じた日常生活力の育成

◎学校が楽しいと感じ元気に登校できる児童の育成

- ・安全な登下校の指導（見える化）
- ・決まりよい学校生活の指導
- ・不登校や不適応への組織的な対応

◎体育活動の充実

- ・運動量の増加
- ・技能の定着（できるようにする）

◎遊びの中での体力向上

- ・休み時間の外遊びの奨励
- ・運動量の確保
- ・業間運動の工夫

◎夢や目標を語れる児童の育成

- ・夢や目標を意識する場の工夫や取組

【3年間のスパンで取り組む学校課題】

- ☆ 主体的・対話的で深い学びの実現・・・子どもが自ら決めることができる授業づくり
- ☆ 笠間中学校との小中一貫教育の推進・・・9年間を通じた指導体制や指導方法の構築と教育活動の推進
- ☆ 教職員の働き方改革の推進・・・月の超過勤務時間45時間以上の職員を「0」にする。

【喫緊の教育課題3題について】

- 1 服務規律の確保に向けた取組
 - ・学校コンプライアンスに係る計画的・効果的な研修の推進
 - ・信頼し合い、高め合い、助け合える教師集団づくり
 - ・外部人材の積極的な活用
- 2 教職員の育成
 - ・ICTを活用した授業づくりを視点とした研修の充実
 - ・ブロック別グループ目標の設定
 - ・積極的な授業公開による日常的な研修の充実
- 3 保幼小の接続に関する取組
 - ・スタートカリキュラムの活用
 - ・教職員同士や児童と幼児の交流活動の促進

＜チーム低学年＞ 【グループ目標】

自分で選び、行動することができる児童の育成

＜チーム中学年＞

自分で考え、行動することができる児童の育成

＜チーム高学年＞

目的に応じ自分で考え、適切に行動することができる児童の育成

＜チーム特別支援＞

自立と社会参加に向けて、自分の考えを表現できる児童の育成

＜チーム教務部＞

児童の考えを大切に、児童自らが決めて行動することができる児童を育成する支援体制をつくる。